

宣 言

祖國非常時の聲を聞く事既に久しく今や危機解消せりとさへ叫ぶ者ある時既に時局を認識し愛國の至情より之が徹底的解消を企圖する。我等は此の國家非常時を單なる對外諸問題のみに惑されし近視眼的一連の俗弊を咎ふと共に其の根本原因が實に全國四千萬農民の生活窮乏に依る社會不安とにある事を知り若し今にして農村問題に萬全を期せずば遂に萬里の長城も 帝三尺の高きに及ばざりし古事版徹を千歳に残すべきあるを憂ふるものである。如斯は實に我等が持つ根本的社會認識にして我等は此の立場を死守すると共に團結の威力を知り四千萬農民の決死的輿論を擔ひて昭和維新の斷行と新日本の建設に邁進すべき榮譽を誇るものである。

右 宣 言 す

昭和九年十月十日

日本農民組合九州聯合會第八回大會